

この一年を振り返って

区長部

より良い若槻地区を目指して

区長部長 渡邊 進

区長部は若槻地区の11の区の正副区長で構成され、各区の特長、知見を通じ地区をまとめて、共に行動、発展を目指すための部になります。と、大上段に振りかぶりましたが、何しろ定例の行事が多く、又、自分の区のこともあり、その対応で精一杯であったというのが実情です。

具体例としましては戦没者追悼式では、遺族会の皆様とともに区長部他関係者で献花を行い御靈を慰靈いたしました。

2回目となった若槻総フェスティバルは初回よりさらに入場者が増える中、清泉の女学生や北中生の手も借りながら老若男女それぞれを対象としたアトラクションやステージ、又飲食をはじめとする、物品販売等では、早々に売り切れも出るほどで半日という短い時間ではありましたが晴天にも恵まれ十分にお楽しみいただけたものと自負しております。三回目となる次回にはさらにスケールアップを目指して行おうということになりました。

視察研修では篠ノ井住自協を訪ね若槻コミュニティセンター（支所、公民館）建て替えのためのノウハウについて意見交換をしました。というのも篠ノ井住自協では引渡し前ではありましたが、同等の施設が完成しており、施設内には入れませんでしたがその充実ぶりは外見からも窺う事ができ、市への働きかけ等のアドバイスを受けました。

その他、新駅建設関連、北部幹線の視察、地区的防災への対応、三戸山産廃への対応等々解決して行かなければならぬ問題も山積しているのが現状です。次に引き継ぎ、取り組んでもらいます。



戦没者追悼式



若槻総フェスティバル

生活安全部

安心した暮らしを目指して

生活安全部長 和田 光人

生活安全部は防犯部会と交通安全部会の二つの部会の活動で若槻の未来を作る子供たちが安全で健やかに成長できるまちを目指して活動をしてきました。

防犯部会は協力団体の「長野中央少年警察ボランティア協会」の協力のもと地区内の店舗・遊戯施設等のパトロールの実施、そして小学校の通学路を中心とした青パトによるパトロールと子供たちの放課後の行動並びに通学路の安全点検もしながら「歩いて見守るパトロール」を行ってきました。

交通安全部会は「地域交通安全防犯教室」を6月に安協の協力をいただき防犯部会と共同で若槻大通り交番のおまわりさんと交通安全支援センターの方々に講師をお願いし高齢者を中心とした交通安全と特殊詐欺に遭わないための教室を各地区ごとに開催しました。また、全国交通安全運動の期間中の啓発活動を若槻大通り各地区で行いました。

若槻地区内の市道における停止線などの白線の更新も必要に応じて1年に1回実施しました。

これからも安全で安心して暮らしていくける若槻を作りゆくためには地域の皆様の協力と支援が欠かせません。今後とも若槻の安心安全のためにコミわかの活動にご協力と応援をお願いします。



交通安全教室の一コマ